

単元名「おおきくなあれ！パート1」栽培活動

小単元1	「おおきくなあれ あさがおさんとさつまいもさん」	5時間+課外
小単元2	「種がとれたよ、いもができたよ」	4時間

1. 単元の目標

- ① 草花の成長を確かめ、喜ぶとともに、主体的にかかわり、世話を続けることができる。
- ② 育ててきた草花の種をとって、その様子を調べたり、使い方を考えたりすることができる。
- ③ 植物の成長や変化、生命をもっていること、また、自分の関わりに気付くことができる。

2. 単元の評価規準

＜内容＞ (7) 動植物の飼育・栽培

	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
の 評 価 規 準	・生き物やそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、親しんだり大切にしたりしようとしている。	・工夫して動物を飼ったり植物を育てたりするとともに、世話をしたことや生き物のことなどについて表現することができる。	・動植物は生命をもっていることや成長していること、動植物の世話の仕方などに気付いている。
単 元 の 評 価 規 準	・あさがおやさつまいもを育てる中で、変化や成長の様子に関心を持ち、親しみ、大切にしようとしている。	・あさがおやさつまいもを育てるとともに、世話したことや成長の様子などについて表現することができる。	・植物も生命を持っていることや成長していること、植物の世話の仕方などに気付いている。
学 習 活 動 (小 単 元) に お け る 具 体 的 評 価 規 準	① あさがおの種まきやさつまいもの苗植えをしようとしている。 継続してあさがおやさつまいもの世話をしている。 ② すすんで種取りをしたり収穫したりして、収穫の喜びを分かち合っている。	① あさがおやさつまいもを育てる中で、成長の様子やどう成長してほしいのかを記録することができる。 成長を見取り、その様子を自分なりの表現方法で、みんなに伝えることができる。 ② 収穫の喜びを自分なりの方法で表現できる。	① あさがおやさつまいもを育てる中で、世話に気付いたり変化に気付いたりする。 植物も自分達と同じように成長していることに気付く。 ② 頑張っ育てた植物が実ったことやお世話できたことの満足感を味わう。

3. 指導と評価の計画 (総時数9時間+課外)

時間	「小単元」 ◎ ねらい ○ 学習活動	小単元における具 体の評価規準との 関係	評 価 ○評価の視点 () 評価方法 ・規準に達しない児童への手立て
5 + 課 外	<p>「あさがおやさつまいもをそだてよう」</p> <p>◎あさがおの種やさつまいものなえを、大きく育 ってほしいと願いをもって植えることができる。</p> <p>○ あさがおのたねとさつまいものなえを植える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植えた後、大きくなるまでに何をするのかを考えさせる。 ・ ふたばがでたよ ・ ほんばがでたよ ・ つるがでてきたよ ・ はながさいたよ <p>○ 世話を続けていこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのようなお世話がいいのかを考えさせ、実行する。 	<p>アの①</p> <p>イの①</p> <p>ウの①</p>	<p>○あさがおやさつまいもの苗を植え、お世話をしている。(対話・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あさがおやさつまいもの変化が見られるときに、必ず声かけをし、行動を促す。 ・ 植物の気持ちを考えさせる。 <p>○あさがおの成長の変化に気付き、何が変わったか、どう成長して欲しいかを考え、記録する。(観察カード、つぶやき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何を見るのか、視点を与え、それを見るようにさせる。また、友達の記録カードを参考にして記録するように助言する。 <p>○あさがおやさつまいもの世話の仕方に気付く。(対話・つぶやき)</p> <p>○あさがおやさつまいもの成長に気が付く。(観察カード・対話)</p>
4	<p>「たねがとれたよ、いもができたよ」</p> <p>○ あさがおの種取りをする</p> <p>○ 種はいくつとれたかな？その種をどうしよう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年長さんのとき、1年生からプレゼントされたことを思い出し、どうするか考えさせる。 ・ 種で何をしたいか考えよう <p>○ さつまいもを収穫する</p> <p>○ さつまいもをどうやって味わうかかんがえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さつまいもの料理を調べる ・ おいしい料理をつくる 	<p>アの②</p> <p>イの②</p> <p>ウの②</p>	<p>○ 種取りをしたり、さつまいもの収穫をしたりと一生懸命に取り組もうとしている。(観察・つぶやき)</p> <p>○ 収穫した種や芋をどのようにすればよいかを考えることができる。(対話・観察カード)</p> <p>○ 成長の記録を工夫してまとめることができる。(作品・対話)</p> <p>○種や苗植から始まった活動に一生懸命に取り組めたことを喜びと感ずることができる。(カード・対話)</p> <p>○新たに育てたいものを考えることができる。(カード・対話)</p>

D-4 資料2

単元名 「きせつとなかよし」

小単元1 「はるとなかよし」 3時間 小単元3 「あきとなかよし」 18時間+課外
 小単元2 「なつとなかよし」 14時間 小単元4 「ふゆとなかよし」 9時間

1. 単元の目標

- ① 学校の周りの自然や施設，人々の暮らしに関心と愛着を持ち，安全に注意して活動できるようにする。
- ② 学校の校庭や公園などの自然と親しみながら，友達どうして遊びを楽しむことができる。
- ③ 学校の校庭や公園などの遊びや草花，木，虫などの観察，人との関わりを通して自然や生活に見られる季節の変化に気付くことができる。

2. 単元の評価規準

<内容> (3) 地域と生活 (5) 季節の変化と生活 (6) 自然や物を使った遊び

	ア. 生活への関心・意欲・態度	イ. 活動や体験についての思考・表現	ウ. 身近な環境や自分についての気付き
内容内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々や様々な場所に親しみをもって関わり，自分の生活を広げようとしている。(3) ・身近な自然を観察したり，季節や地域の行事に関わる活動をしたりしようとしている。(5) ・いろいろな遊びに関心を持ち，楽しく遊ぼうとしている。(6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々や様々な場所と適切に関わることや，安全に生活することについて考え，それを表現することができる。(3) ・四季の変化や季節に応じて，自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。(5) ・身の回りの自然や身近にある物を使うなどして遊びを工夫し，みんなで楽しむとともに，それを表現できる。(6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活は，地域の人々や様々な場所と関わりをもっていることが分かっている。(3) ・四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気付いている。(5) ・身の周りの自然や身近にある物を使うなどして遊べることや，みんなで遊ぶと楽しいことに気付いている。(6)
単単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭や身近な遊び場で，草花や虫などの自然と親しんだり友達と遊んだりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭や公園，マリパークなど近くの遊び場の自然物を使って物を作ったり，遊び方を工夫したり，季節に合った遊びを楽しんだりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所や季節に合わせて遊びを考えたり工夫したりすると，みんなで楽しく遊べることや自然や生活に見られる変化に気付いている。
学習活動(小単元)における具体的評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①校庭や学校の周りを散策する中で，春を見つけようとしている。 ②校庭やマリパークで遊ぶ中で，春との違いを感じたり，楽しく遊んだりしようとしている。 ③校庭や学校の周りの自然に触れたり地域行事へ参加したりして秋を体全体で感じようとする。 ④冬を色々な物から感じたり楽しく遊んだりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①色々な場所で春を見つけ，それで遊んだり伝えたりできる。 ②春とは違った遊びを見つけたり校庭やマリパークで楽しく遊んだりできる。 ③自然や祭りなどの行事に秋を感じたり地域の人々と関わったりすることができる。 ④冬の遊びや伝承遊びを楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①草花や木，行事など春を色々な所で見つけられることに気付く。 ②友達と工夫して遊ぶと楽しいことや自然物で遊ぶと楽しいことに気付く。 ③地域の行事と生活のつながりに気付いたり，季節の変化に気付いたりする。 ④自然の中で遊びを工夫する楽しさや冬から春に向かう自然の変化に気付く。

3. 指導と評価の計画

時間	「小単元」 ◎ ねらい ○ 学習活動	小単元における 具体的評価規準 との関係	評 価 ○評価の視点 () 評価方法 ・規準に達しない児童への手立て
3	<p>「はるとなかよし」</p> <p>◎校庭で遊んだり学校の周りを散策したりし、全体で春を感じることができる。</p> <p>○校庭で遊ぼう。 ・遊具で楽しく遊ぶ。 ・校庭を散歩する中で、春の草花を見つける。</p> <p>○学校の周りを歩こう。 ・安全に気をつけて歩こう。 ・通学路に咲いている草花に目をむけよう。 ・用水路の中の生き物を観察しよう。 ・どんなものを見つけたか教えあおう。</p>	<p>アの①</p> <p>イの①</p> <p>ウの①</p>	<p>○校庭や学校の周りの草花や生き物に興味を持つ。(行動観察)</p> <p>○登下校でも春を見つけようとする。(発表・観察)</p> <p>○見つけた春の草花で物を作ったり友達に伝えたりする。(行動観察)</p> <p>・自然に目がいかない児童に対しては、声をかけ一緒に行動する。</p> <p>○友達と一緒に作る楽しさや春を見つけることの楽しさに気づく。</p> <p>○家の周りにもたくさん春があることに気づく。(行動観察)</p>
11	<p>「なつとなかよし」</p> <p>◎校庭やマリパークでの遊びを通して、春との違いを感じたり季節に合った遊びを楽しんだりする。</p> <p>○校庭で遊ぼう。 ・校庭で、春とは違うものを見つけよう。 草が伸びている。 ばったがいる。 さくらんぼが実っている。 あさがおが大きくなってきた。 花のみつがある。 ありが行列になっている。</p> <p>○どろんこ遊びを楽しもう。 山をつくろう。川を作ろう。お団子を作ろう。 のとじま大橋を作ろう。 ぼくらの町を作ろう。</p> <p>○ マリパークで遊ぼう。</p>	<p>アの②</p> <p>イの②</p>	<p>○校庭の自然や学校生活から夏を感じることができる。(発表・観察)</p> <p>○自然のものを使って楽しく遊ぼうとしている。(行動観察)</p> <p>○春との違いや色々な自然の変化を伝えたり、遊びを工夫したりすることができる。(発表・観察)</p> <p>○海に合った遊びを楽しむことがで</p>

3	<p>海で遊ぼう。 貝を集めよう。</p> <p>○集めた貝でオリジナルな写真たてを作ろう。 ガラス美術館の学芸指導員の方を講師に、ガラスの破片と貝を使った写真たてを作る。</p> <p>○草花や虫とあそぼう。 校庭の草むらに虫がいるよ。 夏休み前より多くいるよ。 朝顔に種ができたよ。 もうすぐ月見だよ。</p>	ウの②	<p>きる。 (行動観察)</p> <p>○友達と遊ぶと楽しいことや自然の物を使ったりその場に合った遊びをしたりすると楽しく遊べることに気づく。</p> <p>(発表・カード)</p> <p>○虫が前より多くなったり大きくなったりしていることや、季節の行事などから秋の始まりに気づく。</p>
---	---	-----	--